

進路だより

福島県立猪苗代支援学校
進路指導部
令和2年12月24日



残暑の厳しい時節に始まった長い2学期ですが、宿泊学習や修学旅行、いなっ子まつり、校内・校外実習と大きな行事を無事終えて、明日から冬季休業となります。今回の進路だよりは、10月20日(火)に行われた先輩の話を聴く会と11月9日(月)から20日(金)までの10日間行われた中学部、高等部による後期校内・校外実習についてお知らせします。

先輩の話を聴く会

10月20日(火)に中学部、高等部の生徒対象に先輩の話を聴く会が行われました。講師はヨークベニマル猪苗代店に勤務している平成30年度本校高等部卒業生 五十嵐康太さんです。「今の仕事と生活について」というテーマで、生徒達が質問する形式で行いました。生徒達からは、仕事の内容や大変なこと、給料の金額やその使い道、休日の過ごし方など多くの質問が出されました。その一つ一つに丁寧に答えていただき、卒業後の生活や進路に関心をもったり、自分の進路をより現実的に考えたりすることのできる有意義な時間となりました。



後期校内実習(中学部、高等部)

校内実習では、校内猪苗代工場(外部委託作業の菓子箱折り・割りばし袋詰め)、リサイクル班(ペットボトルリサイクル活動)、生活班(個別の計画による活動)に分かれて活動しました。

校内猪苗代工場では、柏屋の薄皮饅頭の箱を折り、上箱、下箱共に4000箱を納品しました。上箱を折るのは初めてのことでしたが、下箱より「しわ」が付きやすくより慎重さが要求される作業でした。また、今回初めて割りばしの袋詰め作業に取り組み、2500本を納品しました。この作業は、会津青年会議所からの委託作業で、鶴ヶ城の石垣を保護するために伐採された樹木を材料とした割りばしとのことでした。



後期校外実習(高等部)

前期は行うことができなかった校外での実習に多くの生徒が取り組みました。慣れない環境で緊張しながらも、前期実習での反省を踏まえた自分の目標に向かって、一生懸命に取り組みました。作業学習や校内実習で身に付けた手指の動かし方を生かして箱折りや袋詰め作業を正確に行ったり、リサイクル作業に自分から進んで取り組んだりするなど、普段の学習の成果を実践することができ、大変貴重な経験となりました。



事後学習では、実習内容を振り返り、目標に対する成果や今後の課題について考えました。「作業の報告や相談などのときに、はきはきと大きな声で話す」、「手先や指先を使った仕事をしてみたい」など、今後の学校生活の中で頑張りたいことについても触れながら、まとめたことを皆の前で発表しました。

Topics : 校外実習実習先と作業内容

- 会津若松市：FoodLabo 菜果(調理)、コパン(清掃作業)、コパン・クラージュ(施設外就労、マナーの学習など)、夢の樹(袋詰めや箱折り作業)、AOI 共同作業所(弁当作り)、生活介護事業所あすか(ウォーキング、太鼓など)、Mamiya つどいの家(体操、集団レクリエーションなど)、自立支援事業所くれよん(牛乳パックちぎり、リサイクル作業など)
- 猪苗代町：猪苗代町役場(清掃作業)、さぎそうの家(タオルの袋詰め、ピーナッツの殻剥きなど)、猪苗代町地域活動支援センター(農作業、ウエス作業など)
- 下郷町：下郷作業所ホイップ(パン製造、農作業など)
- 郡山市：キッチンコスモス(野菜の収穫や袋詰め)、郡山市緑豊園(野菜の収穫、ペン組み立て)
- 鮫川村：鮫川たんぽぽの家(リサイクル作業、くるみボタン作りなど)

※詳細については進路担当までお問い合わせください。